

2007年3月 ソウルオフィス市場レポート

ソウルご在住の皆様いかがお過ごしでしょうか。
 スターツインターナショナル코리아株式会社オフィス・商工チームです。

今回は2006年度ソウルオフィス市場の総決算です。
 2006年度のソウルオフィス市場の特徴は大きく分けると
 ①空室率の激減 ②ヨイドエリアの再浮上 ③賃貸料の値上げ傾向
 になるかと思えます。

空室率が下がって来るとオーナーが強気になり、オーナー優位の市場になるので借り手に不利になります。
 移転しようとも物件が見つからない上に厳しい契約条件を言い渡され、いやなら契約しなくても良いと言われることもよくあります。

また、賃貸料もどんどん跳ね上がるので借り手には非常に厳しい環境になって来ますが、こういう時だからこそ弊社が皆様の力になります。

お客様の立場に立ってのコンサルティングを行いますのでより良い条件でより安全な契約をしていただくことができるものと自負しております。



	2004年第4四半期	2005年第1四半期	2005年第2四半期	2005年第3四半期	2005年第4四半期	2006年第1四半期	2006年第2四半期	2006年第3四半期	2006年第4四半期
市庁エリア	3.7%	3.1%	3.7%	2.9%	3.0%	3.6%	3.7%	3.2%	2.9%
江南エリア	3.9%	3.9%	3.2%	3.8%	3.2%	3.6%	3.3%	2.7%	2.3%
ヨイドエリア	3.9%	4.3%	3.7%	4.2%	3.5%	3.0%	2.3%	2.3%	2.6%

※2006年第4四半期の江南空室率の2.3%は江南エリア全体の平均値です。テヘラン路及び江南大路に限りますと空室率は1.8%になります。

